

松木さん道警表彰

室蘭署
嘱託医

8年間で250件検案

製鉄記念病院長

犯罪捜査に関係する法医鑑定を献身的に行うなど、警察活動に多大な協力があったとして、室蘭署の検案嘱託医で製鉄記念室蘭病院院長の松木高雪さん(57)が警察協力功労者等表彰(札幌方面本部長表彰)を受けた。松木さんは「地道な警察の仕事を手伝って

るだけ。今後も頑張りたい」と話している。松木さんは、2006年(平成18年)から、室蘭署検案嘱託医として、警察の検視に立ち会い、医師の目で死因や死亡時刻、異状死との鑑別を総合的に判断する検案に携わってきた。昨年は計36件、これまで約2

50件の検案に従事してきた。病院に搬送されてから亡くなった人の死因調査、変死体の検視は昼夜を問わない。同行する検案嘱託医も同じ。さらに自ら命を絶つた若者や腐敗が進んだお年寄りの遺体などにも直面した。「治療という医師の仕



警察協力功労者等表彰を受けた松木さん

事とは別。検案嘱託医はつらい面もある」と話す。

道警本部で18日に行われた贈呈式に出席、感謝状を受け取った松木さんは「表彰には感謝している」と謙遜する。専門が循環器病。「心筋梗塞などの循環器系で急死した方の検案をする」ともあり「もう少し早く、病院にかかってくれば」と思っ時もある。そういった検案が一件でも減ってほしい」と願う。(松岡秀直)